

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

什器備品・・・・・・・・・・定額法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準について

退職給付引当金・・・・・・・・役員及び職員の退職金支出に備えるため、  
期末における要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理について

税込み処理をしている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産 退職給付引当資産	20,954,000	2,416,000	-	23,370,000
合 計	20,954,000	2,416,000	-	23,370,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産 退職給付引当資産	23,370,000	-	(23,370,000)	(23,370,000)
合 計	23,370,000	-	(23,370,000)	(23,370,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	337,260	183,382	153,878
合 計	337,260	183,382	153,878